

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		文化財活用事業				担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74113
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2 誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり				根拠法令 個別計画等	深谷市文化財保護条例				
	小項目	3 郷土の歴史・文化の継承と活用									
	主要プロジェクト										
事業概要		文化財保護のためには市民による理解が不可欠である。文化財を調査した成果について、できるだけ多くの市民に対して情報を提供する事業を行う。また、貴重な文化財を後世に伝えるための支援事業を行う。									
目的 ※何のために		市内にある文化財を保存し活用するため。									
対象 ※誰・何を対象に		市民を対象とする事業と文化財の所有者に対する事業									
手段 ※どのように		文化財の公開講座の開設、無形民俗文化財の記録保存・体験事業、文化財に関する管理費補助									
成果 ※何を求めるか		文化財に対する保護や理解を得ることを目的とする。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	無形民俗文化財後継者育成補助事業	739,000	
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	文化財活用事業	4,383,257	
本事業の 主な業務		・ 指定文化財保存事業費補助					・ 文化財の管理費補助				
		・ 無形民俗文化財記録作成					・ 無形民俗文化財体験学習				
		・ 発掘調査説明会の開催					・ 国史跡幡羅官衙遺跡群の保存活用計画策定				
		・ 展示会の開催					・				
		・ 歴史講座の開催					・				
		・ 無形民俗文化財の後継者育成事業					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		幡羅遺跡保存活用推進 民俗文化財後継者育成補 助	幡羅遺跡保存活用推進 民俗文化財後継者育成補 助	幡羅遺跡保存活用推進 民俗文化財後継者育成補 助	幡羅官衙遺跡群整備基本 計画策定 民俗文化財後継者育成補 助		
事業費	予算(現額)	8,050,000	5,406,000	7,963,000	9,988,000		
	決算額	4,583,058	2,870,928	5,122,257	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	1,000,000		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	166,400	27,900	115,000		
		一般財源	4,416,658	2,843,028	8,873,000		
人件費	従事職員数(人)	2.40	2.40	2.70	3.40		
	人件費相当試算※	18,886,937	19,224,396	22,200,051	28,994,588		
総事業費試算		23,469,995	22,095,324	27,322,308	38,982,588		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	文化財展示会回数	目標値	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00	2.00	3.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年2回の開催を標準とする。						
	実績値の算出式									
活動指標 2	発掘調査情報公開・現地説明回数	目標値	回							
		実績値	6.00	4.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			埋蔵文化財発掘調査概要の情報公開・現地説明をするため、目標値は設定しない						
	実績値の算出式									
活動指標 3	指定文化財管理・保存事業費補助金交付件数	目標値	件							
		実績値	40.00	40.00	37.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値は設定しない						
	実績値の算出式									
成果指標 1	文化財展示会来場者数	目標値	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
		実績値	1,600.00	373.00	5,691.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1つの展示会あたり500人を目標とする。						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	川本出土文化財管理センター展示の常設展示のほか、企画展示『発掘された古代の幡羅地区』を幡羅公民館で開催した。 また、旧煉瓦製造施設ホフマン輪窯6号窯の特別公開・展示を行い、仮設展示施設で映像及びパネル展示を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	市内で行った発掘調査結果の概要を市ホームページにて情報公開し、埋蔵文化財について広く周知するとともに、埋蔵文化財の保存活用に取り組んだ。 国史幡羅官街遺跡群の保存活用については、保存活用計画に基づき、史跡の公有化・整備を行うために関係部署との調整を行うとともに、整備基本計画の策定について検討を行った。併せて、整備計画等について、文化庁及び埼玉県と情報共有を図った。 旧煉瓦製造施設ホフマン輪窯6号窯の特別公開・展示における、仮設展示施設での映像及びパネル展示には、5,262人の来場があった。
			評価者 文化財保護係長 深町 裕子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	埋蔵文化財発掘調査の概要について、市ホームページを活用しての情報公開を行い、歴史や文化財を学ぶ機会を提供することができた。
			評価者 文化財保護係長 深町 裕子